

平成30年度資金調達計画の見直し

当機構は、平成30年度における地方金融機構債の資金調達計画について、下記のとおり見直しました（平成31年3月4日現在）

記

○ 年間資金調達予定額 10,600億円 → 11,700億円程度

地方金融機構債（政府保証のない公募債） 年間発行予定額：11,700億円程度

債券の種類	3月4日までの実績	3月5日以降の予定額
国内債	7,515億円	300億円程度
10年債	2,600億円	200億円程度
20年債	1,150億円	100億円程度
5年債	200億円	—
30年債	200億円	—
スポット債	150億円	—
FLIP債	3,215億円	—
国外債	2,452億円	1,100億円程度
小計	9,967億円	1,400億円程度
フレックス枠	—	350億円程度
合計	9,967億円	1,750億円程度

(注)

- 1 債券の種類、発行額については、貸付状況、市場環境等により弾力的に対応します。
- 2 フレックス枠については、各種国内債・国外債の増額、スポット債の発行、長期借入の増額等に活用します。
- 3 これまでの実績には、各種債券の額にフレックス枠充当分が含まれています。
- 4 発行に関する情報につきましては、発行の都度ホームページ等を通じてお知らせする予定です。